



GROUP : A

加算取得により付加価値を高めたいかなければならない。加えて、**障害福祉の領域**にも広げていく必要がある。

付加価値を高めて選ばれるようにしていく必要がある。そのために、**自費サービスの展開**を通じて選択を広げて**付加価値を高める**。

時代の変化に対応すること、サービスの**高品質化**などが求められる。

リハビリ機器を個人で購入したり、**軽度者の保険**が変わったりすることを懸念。事業所が減ると**人材が優良法人に流れる**ことも不安。

GROUP : B

ニーズ多様化に伴い、大規模事業所の需要が減り、**アウトカムのニーズ**に合わせた対応が必要。**医療との連携**も増えてくる。

入居者の取り合いや職員の減少が考えられるため、**ICT等を活用**していく。**医療面のサービス提供**が不安であり課題。

医療面が課題だが、看取りのニーズをとらえ、役割分担で対応する。**主治医に看取ってもらう**ことで安心につながる。

働き方の変化で教育が行き届かず、**接遇力が低下**する可能性がある。**高度医療ニーズに対応**できる仕組みを整えていく。

GROUP : C

経済面等で二極化が進むほか、**障害者が高齢化した際の受け皿**が必要。介護と障害、どちらがより適切なサービスを提供できるのか。

生活保護や家族支援がない方が増加する一方で、**要望の多い富裕層**も増加し、**ニーズは二極化が進む**のではないかと考えている。

重度化が進んでも在宅への動きが加速すると思う。**予防を通じて、要介護状態にならない取り組み**が重要になってくる。

時代が変化するため、**柔軟な対応が重要**で、趣味や生きがい、食べたいものなど**個別ニーズに価値を置いていく**ことが望ましい。